

緒明亮作氏（元開発官）のエッセイから（その1）

緒明亮作氏は、元海軍技術少佐、元技術開発官（船舶）で、昭和49年千葉勝山浮島沖で事故を起こした潜水調査船の引責自殺されたが、現職時代に沢山の業績を上げられた。本職は、この氏に憧れ奉職し、尊敬の念を抱き続け、沢山の教示（特に「良い艦」の定見）を間接的に受け、日頃の業務の糧としているところである。最近、氏の死の要因を迫及した「静かな自裁」（飯尾憲士著・文藝春秋）を読み返した中に、退官後の氏の人生に係るエッセイが掲載されている部分があり、改めて人生の教訓を感じたところである。したがってそれを諸官に紹介し、勤務の参考とすることを願うこととした。

【エッセイ①】

顧みて他を言う、とは悲しい凡人の習性である。有名校出身を自慢する人は、多分、その学校へ自分が入学できたのは、まぐれ当りだという罪の意識があるからであろう。

家門を鼻にかける人は、自らその家系に相応しくないという劣等感があるからに違いない。

「近頃の若い者は」とか、「年寄りの世迷い言」などのセリフは、いずれもインフェリオリティー・コンプレックスの反映である。

「数学が達者でなくば人に非ず」という人間は、中学か高校で数学に丁（てい：甲乙丙丁の順で成績不良の意）ばかり貰っていたに違いない。

業者に対して異常に厳しい態度をとる者は、かえって汚職の疑いがあるから気を付けよ、と昔上司から聞いたことがある。

他人の悪口を言い、自分を褒めそやす人物は、最も自信のない人間だと考えてよいであろう。ところが、大抵の社会では、得てしてそのような人間が、自信溢れる有能な人物、として認識され、畏怖され、尊敬すらされる、という事実は皮肉である。

【エッセイ②】

「この道ではわれ日本一」という気概は、四十ぐらいまでは可愛らしいが、それ以上では、醜悪・醜怪である。

「自分ですらこんなに出来るのだから、他人はもっとよく出来るに違いない」という自信と、「自分でさえこれくらいしか出来ないのだから、他人に出来るはずがない」という偽自信とは対照的である。

「人は、何と言ったかではなくて、何をしたか、で評価されるべきである」というのは真実だが、さらに、「“何をしたと言った”かで判断すべきでない」との一言を付け加える必要があるようだ。

【エッセイ③】

職場には、ピンもいなければキリもない。ドングリの背くらべの凡人の集合とみてよい。ところが、平均すれば凡人だが、誰でも非凡なところを持っている。ある人は、解析能力が抜群である。また、ある人は独創力が豊かである。語学が達者な人もあれば、手先が器用で計測がうまい人もいる。・・・・・・（以下略）

【エッセイ④】

旧海軍の兵隊さんの間に流布したことわざに、「一胡麻、二茶目、三実習、四屁もひらず、五の意見吐き」というのがあります。進級の順序を言ったもので、一番目がゴマすり、二番目が快活なナイスボーイ、実務に堪能なのは三番目、次が沈香も焚かず屁もひらず、暗闇から引き出した牛のような人物、口角泡を飛ばして侃々諤々（かんかんがくがく）の議論をする手合いはビリカスというわけですが、それは泰平時代の話であって、現代のような目まぐるしいダイナミックな世代では、どうも五が一位に上がるようです。即ち、当世流に申せば、「はったり、ごま、ちゃめ、つぎ実務、一番しまいが屁もひらず」ということになりましょうか。

【エッセイ⑤】

さて、ものを書くことと、しゃべることの関連ですが、どうも書くことの方が高級なような気がします。

人間の頭脳というものは玄妙不可思議ながら、超自然的なものではないので、一度に二つのことを思い浮かべることはできません。例えば、東京タワーと女房の顔をいっぺんに思い出そうとしても無理です。

私が会議の都度、黒板に書いたり、また物を設計するときにはノートにズラズラと考えのおもむくままを書き残したりする癖があることをお気づきの方もあるかもしれませんが、頭が人並み以上でない者には最も効果的な方法です。

物を書くことが上手な人は、大抵話も上手ですが、逆は必ずしも真ではないようです。話は誤魔化すことができます。昔から言う「煙に巻く」と言うやつです。相手が「聞く耳は持たん」というような顔をしているとつい下手になるし、あるいは腕を振り機関銃のようにまくし立てて、「違うというなら言ってみろ。首根っこをへし折るぞ」というような顔を見せることも出来ますし、あとから考えれば欠点だらけの三段論法を速射砲的效果で、さももっともらしく納得させることも容易です。恋人同士のように相手が眼を輝かせて熱心に聞いてくれれば、下を噛みそうな愛の告白だってスラスラ言えます。

話は巧いが物を書かせると駄目だというような人は、逆の人よりは頭が良くないのかもしれませんが。従って、話が巧くなるためには、まず物を書くことが上手になること、と言ったら飛躍しすぎますかな。

（つづく）

